

研究会報告

「集団生物学の理論的研究」

標記の研究会が1982年12月16日～18日に基研において開かれた。以下に講演とコメントの要旨を掲載する。

世話人 寺本 英, 重定南奈子,
石井 一成, 松田 博嗣

目 次

はじめに — 集団生物学と統計物理学	松田博嗣 (九大理)
生物集団の遷移	中島久男 (立命理工)
多型と進化速度	石井一成 (九大理)
ランダムな衝突モデルの集団生物学への応用	伊藤栄明 (統数研)
イースト細胞集団の年齢構成	浜田哲夫 (茨城大理)
個体群のポアソン分布変形	真山紀 (東海大工)
ゾーリムシのランダム運動	原啓明 (東北大工)
有性生殖におけるESS	松田博嗣 (九大理)
利他的行動におけるESS	田町信雄 (九大理)
サイズ分布についての法則性	寺本英 (京大理)
種分化を支配する遺伝的システムの確率モデルの研究	丸山毅夫 (遺伝研)
情報伝達におけるネグントロピー消費	中込照明 (京大理)
個体間相互作用となわばりのパターン	種村正美 (統数研)
企業のサイズ分布とその時間発展	西山賢一 (帝京大経)
非線型拡散方程式の一つの取扱いについて	川崎恭治 (九大理)
生態系の二次遷移と階層構造 (コメント)	奥田賢三 (大阪工大)
拡散方程式系における空間的一様周期解の不安定化について	森田善久 (京大理)